

記念講演 & 報告会

「発達障害を職場でささえる」 ～就労準備等を活用した支援の進め方～

日時／2019年 3月 18日（月） 13：30～16：30

会場／TKP新橋カンファレンスセンター ホール5B <定員 80名>
〒105-0003 東京都港区西新橋1-15-1 大手町建物田村町ビル

就労準備や就労訓練を活用した支援は、なぜ進まないのか？ 求職活動には求人情報の探索、求人票の検索がつきものですが、就労体験等のプログラムや提供企業を探したり案内するとき、使い勝手の良い「体験シート」は未だ見当たりません。「〇〇会社で体験できます」以上の具体的な情報がないため、相談者にその魅力や効果を案内できません。今年度、全国20数自治体で、「体験シート」づくりを試みてみました。その成果と「体験シート」の実際を紹介します。併せて、相談から就労準備、職業紹介、定着支援で構成される「プロセスとしての就労支援」。限られた体制で進める業務改善策を報告します。

メンタルヘルスに配慮した相談支援が課題となっていますが、記念講演では最近「発達障害を職場でささえる」（東京大学出版会）を上梓された宮木幸一先生にご登壇いただきます。宮木先生は、発達障害傾向のある当事者の特性を視覚化し、苦手なことを意識できるツール「発達障害2軸評価ツール」を開発され、また「心身不調のまま勤務することによる生産性の損失（プレゼンティーズム）」に関するWHOの「プレゼンティーズム指標」（日本語版）を作成されています。適切な就労支援によって社会全体の見えない損失（プレゼンティーズム）を減らすという動向は、企業、生産現場と連携した今後の就労支援の広がりを感じさせます。就労支援の施策や事業のあり方を探ってみます。

1 報告

就労体験プログラム・シートづくりと無料職業紹介等の効率的な進め方

- 13：30～14：00 「体験シート」づくりの実際（現場報告：旭川市、大阪府内自治体）
- 14：00～14：20 『無料職業紹介事業の活用』 効率的な業務の進め方（案）

2 情報提供

- 14：20～14：40 厚生労働省社会援護局
生活困窮者自立支援室

3 記念講演（15：00～16：00）

「発達障害を職場でささえる」 ～メンタルヘルスに配慮した相談支援のヒント～

<講師>

宮木 幸一氏（一般社団法人産業精神保健研究機構 代表理事
名古屋大学 客員教授、医師・医学博士）



都営三田線 内幸町駅 A3 出口 徒歩 1 分
東京メトロ銀座線 新橋駅 8 番出口 徒歩 3 分
JR 山手線 新橋駅 日比谷口 徒歩 4 分
JR 東海道本線 新橋駅 日比谷口 徒歩 4 分
JR 横須賀線 新橋駅 日比谷口 徒歩 4 分

お問合せ・お申込み

- ◆下記の内容をご記入の上、FAX、メールのいずれかの方法でお申込みください。
FAX：06-6562-1549 メール：morita.chiho@adash.or.jp
- ◆お問合せ先：A'ワーク創造館 TEL：06-6562-0410 担当：森田

| お名前 | 所属 | 電話番号 | E-mail |
|-----|----|------|--------|
| | | | |